【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年11月1日(2022.11.1)

【国際公開番号】WO2021/206124
【出願番号】特願2022-514110(P2022-514110)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｇ 12/00(2006.01)
Ａ６１Ｇ 10/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｇ 12/00 Ｚ
Ａ６１Ｇ 10/00 Ｋ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月1日(2022.9.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記従来の課題を解決するために、本発明に係る医療用移動体システムは、各種の疾患患者を収容する医療用移動体を備える、医療用移動体システムであって、前記医療用移動体システムは、前記医療用移動体と、医療検査器具及び／又は医療診察器具を保持するハンドを有するアームと、を備える、ロボットと、前記ロボットを操作するように構成されている、操作器と、制御装置と、を備え、前記ロボットは、前記医療用移動体内の第１空間に配置されていて、前記操作器は、前記第１空間から隔離されている、第２空間に配置されていて、前記制御装置は、前記ロボットを前記患者に近づくように自走させる（Ａ）と、前記（Ａ）の実行後に、前記操作器から入力された前記アーム及び／又は前記ハンドの操作指令情報に基づいて、前記アーム及び／又は前記ハンドを動作させる（Ｂ）と、を実行するように構成されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
また、本発明に係る医療用移動体システムの運転方法は、各種の疾患患者を収容する医療用移動体を備える、医療用移動体システムの運転方法であって、前記医療用移動体システムは、前記医療用移動体と、医療検査器具及び／又は医療診察器具を保持するハンドを有するアームと、を備える、ロボットと、前記ロボットを操作するように構成されている、操作器と、を備え、前記ロボットは、前記医療用移動体内の第１空間に配置されていて、前記操作器は、前記第１空間から隔離されている、第２空間に配置されていて、前記ハンドには、第１撮影装置が配置されていて、前記操作器から入力された前記アーム及び／又は前記ハンドの操作指令情報に基づいて、前記アーム及び／又は前記ハンドが動作する（α）を備える。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９３
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００９３】
また、保持部材３３には、一対のレーザーポインタ（レーザー光指示具）３８Ａ、３８Ｂが配設されている。レーザーポインタ３８Ａ、３８Ｂは、それぞれから照射されたレーザー光３９Ａ、３９Ｂが、第１ハンド１８Ａの前方で交差するように配置されている。なお、レーザー光指示具は、第１ハンド１８Ａに３つ以上配置していてもよい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２１８】
また、本実施の形態６に係る医療用移動体システムでは、医療用移動体システムが、第１撮影装置が撮影した画像情報及び／又は映像情報を表示するように構成されている、第１表示装置をさらに備え、制御装置は、第１撮影装置が撮影した画像情報及び／又は映像情報を第１表示装置に表示させた状態で、（α）を実行するように構成されていてもよい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２２７】
本実施の形態６に係る医療用移動体システムの運転方法は、各種の疾患患者を収容する医療用移動体を備える、医療用移動体システムの運転方法であって、医療用移動体システムは、医療用移動体と、医療検査器具及び／又は医療診察器具を保持するハンドを有するアームと、を備える、ロボットと、ロボットを操作するように構成されている、操作器と、を備え、ロボットは、医療用移動体内の第１空間に配置されていて、操作器は、第１空間から隔離されている、第２空間に配置されていて、ハンドには、第１撮影装置が配置されていて、操作器から入力されたアーム及び／又はハンドの操作指令情報に基づいて、アーム及び／又はハンドが動作する（α）を備える。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２２８】
また、本実施の形態６に係る医療用移動体システムの運転方法では、医療用移動体システムが、第１撮影装置が撮影した画像情報及び／又は映像情報を表示するように構成されている、第１表示装置をさらに備え、第１撮影装置が撮影した画像情報及び／又は映像情報を第１表示装置に表示させた状態で、（α）が実行されてもよい。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２４６】
なお、本実施の形態６においては、支持部材３５及びカメラ３６が、中間部材３２の下端部に配置されている態様を採用したが、これに限定されない。支持部材３５及びカメラ３６は、中間部材３２の上端部等に配置されていてもよい。また、支持部材３５及びカメ

ラ３６は、保持部材３３に配置されていてもよい。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２４８】
　また、保持部材３３には、一対のレーザーポインタ（レーザー光指示具）３８Ａ、３８Ｂが配設されている。レーザーポインタ３８Ａ、３８Ｂは、それぞれから照射されたレーザー光３９Ａ、３９Ｂが、第１ハンド１８Ａの前方で交差するように配置されている。なお、レーザー光指示具は、第１ハンド１８Ａに３つ以上配置していてもよい。